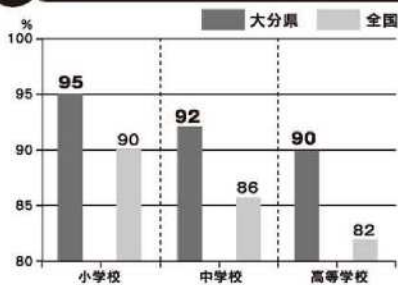


特集

大分県の児童生徒の ～アンケートから見た子どもたちの姿～

今回、「教育だよりおおいた」は、表紙のイメージを一新するとともに紙面の構成も大幅にリニューアルしました。これから保護者の皆様はもちろん、お子さんたちにも発刊を楽しみにしていただけるような紙面作りを心がけていきますので、ご意見やご要望をどんどんお寄せください。生まれ変わった「教育だよりおおいた」は、皆様のご意見をいただきながら成長していきたいと考えています。リニューアル第1弾の特集は、相当な数の児童生徒の声が集約された貴重なアンケート調査から、大分の等身大の子どもたちの姿に追ってみました。

Q1 大分県の子どもたちは朝食をきちんと食べている



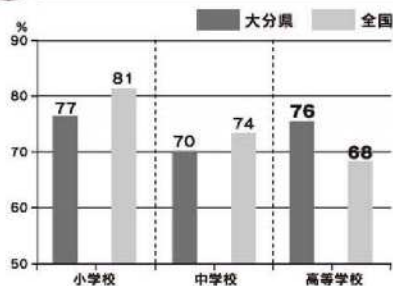
朝食をきちんと食べていますか？

左のグラフをご覧ください。大分県、全国ともに小学校から中学校、そして高等学校と進むにつれて、きちんと食べているという回答が減少しています。しかし、全国平均と比べ、本県はどの段階においてもきちんと食べている児童生徒の割合が高くなっており、家庭での良好な食習慣が守られているようです。

実は、食事と学習到達度調査との関連に関するデータによると、到達度が高い児童生徒ほど、きちんと朝食を食べているという傾向が見られます。

お子さんの健やかな成長のため、また、朝1時間目から体や脳が活発に働くよう、朝食を必ずとする習慣をつけましょう。是非、4面の林教育委員長執筆「わが家の朝ごはん」もあわせてご一読ください。

Q2 大分県の高校生は学校好き？



学校が好きですか？

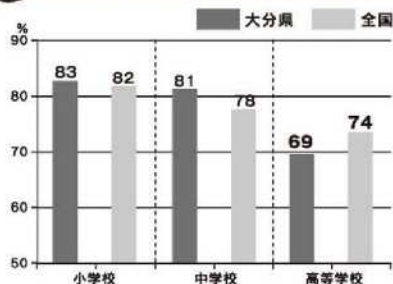
全国的狀況をごらん下さい。小学校で80%を超える児童が学校が好きと回答し、中学校ではやや低下していますが、それでも73%を超えており、高校生になると約68%まで低下するなど年齢が高くなるほど学校が好きという割合が低くなっています。

次に、本県の子どもたちを見てみると、小学校から中学校にかけては、全国と比べ学校が好きと回答する児童生徒の割合は少ないという悲しい結果となっていますが、高校生になると全国を大きく

上回るとともに、本県の中学生の学校が好きだという割合を5ポイント上回っています。これは、幼い頃から慣れ親しんだ街から少し離れ、新しい自分をアピールできる機会を得るなど、大きなプラス面での心情の変化があることも原因の一つと思われる。いずれにしても、本県の高校進学は子どもたちにとって改めて学校が好きになるきっかけとなっていると言えます。

これはうれしい発見です。

Q3 大分の高校生は、あまり勉強が就職に役立つと感じていない



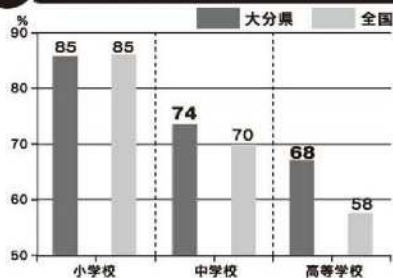
勉強すれば、自分の好きな仕事につくことに役立ちますか？

本県、全国ともに小学生は80%を超える割合で、勉強が将来の自分の仕事に役立つと考えていますが、全国では、中学校、高等学校と段階的にそう考える生徒の割合が減少しています。

一方、本県では中学生までは80%を超える高い割合で勉強が仕事に役立つと考える生徒がいますが、高校生では、そう考える生徒の割合が極端に低下し、70%を下回る状況となります。ちょっと心配な結果ですね。



Q4 大分っ子はわりと自信满满？



勉強すれば、自分はわからない事でも自分の力で答えを見つけられるようになりますか？

本県、全国ともに小学校、中学校、高等学校と段階的に、自分の力で答えを見つけられると考える児童生徒の割合が低下していますが、大分の子どもの低下の割合が、全国に比べ緩やかになっています。

これは、成長するにつれて、できることとできないことの区別、判断の正確性が増していくのとあわせて、自分の勉強の限界も見通せてくるようにな

ることから、このような結果になるものと思われる。大分の子どもの割合の低下が緩やかなことは頼もしい限りです。

子どもたちには、様々なことに挑戦させ、これまでできなかったことが実現していく過程を経験し、達成する喜びを味わうことができる環境をつくっていくことが望まれます。

チャレンジ精神旺盛な子育てをやりましょう。